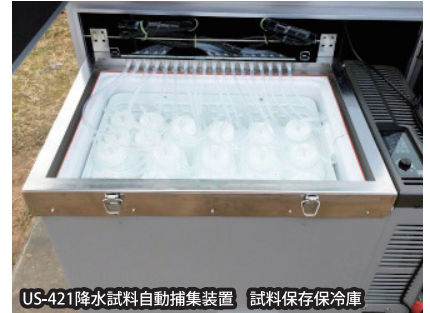




気象庁発表 全国1か月予報(平成30年3月29日発表)

- 北・東・西日本では、暖かい空気が流れ込みやすく、向こう1か月の気温は高い見込みです。
- 北・東・西日本では、期間のはじめは気温がかなり高くなりますが、2週目は寒気が流れ込むため、西日本と沖縄・奄美では気温が低くなる見込みです。
- 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、向こう1か月の日照時間は多く、向こう1か月の降水量は少ない見込みです。

## US-421降水試料自動捕集装置



## 環境省殿国設酸性雨測定所における測定機のオーバーホールを実施致しました

**国** 設酸性雨測定所に設置している測定機(乾性沈着モニタリング装置及び降水試料自動捕集装置)については、長期モニタリング計画に基づいて常時使用していますが、劣化が進んでいる測定機については計画的にオーバーホールを実施しています。

酸性雨は、河川や湖沼、土壌を酸性化して生態系に悪影響を与えるほか、コンクリートを溶かしたり、金属に錆を発生させたりして建造物や文化財に被害を与えますが、これは、二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)や窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)などを起源とする酸性物質が、雨・雪・霧などに溶け込み、通常より強い酸性を示す現象です。雨などに溶け込み地表に降ってきたものを「湿性降下物」、雨以外の乾いた粒子等の形で降ってきたものを「乾性降下物」としています。この「湿性降下物」を降水試料自動捕集装置で捉え、「乾性降下物」を乾性沈着モニタリング装置で捉え、化学成分の測定を行っています。

小笠原計器製作所では、約50年前に酸性雨を測定するための装置を開発し、改良を加え、現在に至るまで製作を続けています。

## 乾性沈着モニタリング装置

